

## 【特集】家に籠る…だからできるアレもコレも! インドア大充実計画

巣ごもり生活でストレスは溜まる一方だけど、この機会をプラスに捉えてインドア生活を楽しもう。ということで、家の中で楽しくごすためのアレやコレを大提案。難解パズルやプラモ製作、料理やお酒、リラクゼーションやトレーニングギア、長編映画やTVドラマのイッキ観など、時間のあるいまだから、インドアライフ快適プロジェクト。

- P15 [PUZZLE] ……ジグソー地獄へようこそ
- P16 [PUZZLE] ……アタマを“かつのう”せよ
- P17 [PUZZLE] ……ルービックキューブで地頭力アップ!
- P18 [PUZZLE] ……クラフト系立体パズルの世界
- P20 [GAME] ……カードゲーム三昧
- P21 [HOBBY] ……レシートから始める切り絵入門
- P22 [HOBBY] ……筆ペンで描こう
- P24 [HOBBY] ……「羊毛フェルト」ハジメマシタ!
- P25 [HOBBY] ……「ペーパークラフト」ノススメ
- P26 [HOBBY] ……テラリウム作りでしばし時を忘れる
- P28 [HOBBY] ……好きな時に思いのまま
- P30 [HOBBY] ……いまこそホームシアター
- P32 [HOBBY] ……庭で遊ぼう
- P34 [HOBBY] ……本格プラモに挑戦
- P38 [BICYCLE] ……自転車カスタム&メンテナンスギアカタログ
- P40 [CARE] ……家具のカサつきが気になったら、始めようツヤ出し
- P41 [CARE] ……靴の手入れは大人の嗜み。選ぶならライオン靴クリーム本舗
- P42 [LIFE] ……快眠生活を実現
- P44 [LIFE] ……衛生&除菌グッズカタログ
- P46 [LIFE] ……即席&楽しい男の調理家電
- P48 [LIFE] ……お取り寄せ 旨いモノカタログ
- P49 [LIFE] ……テレワーク便利グッズ
- P52 [WHISKY] ……飲み方多彩! だから大スキ、ウイスキー
- P54 [MOVIES] ……長編映画&シリーズ映画イッキ観!
- P56 [TV DRAMA] ……あのカルトドラマも……長編TVシリーズイッキ観!
- P58 [NOVELS & MANGA] ……いまだから読んでおきたい、お勧め!長編小説&漫画
- P60 [TRAINING] ……運動不足を解消!
- P62 [HEALTH] ……癒しの世界へようこそ。リラクゼーションギア
- P64 [GARDENING] ……男のガーデニングギアカタログ

# mono

## CONTENTS.2

2020.5-16 No.848

今月のイチ押し!

脳科学とITを融合させた「ブレインテック」を応用し、脳波でキャラクターを動かして遊びながら脳を鍛えるゲームアプリが登場! 気になる人はP.9の「mono編集部」のモノ差し」を見てみよう!



【特集】

## 極めろ自宅美音!

良い音を自宅でゆっくり楽しみたいという“美音原理主義”なアナタに贈るオコモリ最強オーディオ特集。ピュアオーディオからPCオーディオ、ワイヤードヘッドホンからワイヤレスイヤホンの世界まで自宅オーディオの王道を徹底追求!



073



【ステイホーム特別企画】 たかみひろしの ..... 090

## 男の英米ロック名盤100!

週末も家にいるべし! そんな～なんて嘆くことはない。なぜならこの時間は俺たち音楽好きにとっての至福なのだから。今回は本誌「シネマショウ」連載でもおなじみ音楽ライターのとたかみひろし氏が、その人生をかけて聴いてきた60～70年代のイギリス&アメリカのロックから、選りすぐりの100枚をご紹介します! 皆さんのお気に入りのオーディオ装置で、ぜひ週末はロック三昧だ!



【特集】 普段着としてもアリな高機能仕事服!! ..... 099

## 夏の進化系ワークウエア

働く人が着るワークウエアがますます進化中! 普段着としても愛用できそうなアイテムもたくさん揃い、我々の今夏の強い味方になりそうだ。カラダに圧倒的な涼感を与える大人気のEFウエアをはじめ、機能・デザインが凄すぎる夏の進化系ワークウエアに熱視線!



【連載】 時が止まって。 文と構成/河村喜代子 写真/WPP コレクション ..... 128

## シモンズ ゼネラルストア Symons' General Store

北ミシガンは 20世紀を代表する米作家ヘミングウェイゆかりの大地。作家の足跡がいくつも残るペトスキーの町で、ゼネラルストアの看板を掲げるシモンズ。突出した個性を持たないことを、個性にしてきたゼネラルストアを、シモンズは長い時間をかけて高級食品ブティックの店につくり替えてきた。



mono編集部モノ差し.....	007	新製品情報.....	121
う～ん、うなるもの.....	010	イキなモノ語り.....	122
怪奇骨董新書箱.....	065	シロラボ.....	124
電子写真機恋愛.....	068	モノ・ショップ新聞.....	126
魁・デジタル松下村塾.....	070	インフォメーション.....	138
今月のもう一杯.....	098	バックナンバーリスト.....	139
モノ進化論.....	114	次号予告.....	140
コンビニの力.....	117	モノショップジャーナル.....	141
たかみひろしのシネマショウ3.....	120		

# [PUZZLE]



**純白地獄DX**  
表だけでなく裏面までも真っ白な、最高難易度バージョン。やりこみ度も最高級。1000ピース。サイズ：72×49cm。価格3300円。

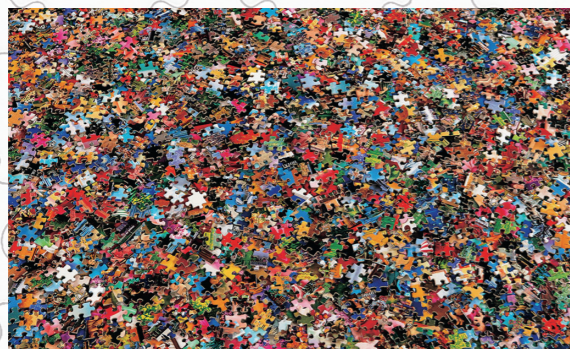
# ジグソー地獄へようこそ!

正解が見つからないストレスとピースがハマったときの興奮が繰り返されるジグソーパズルこそ、インドア遊びの王道。クスリと笑えるアイデア品から地獄のような最高難易度まで、ひとりひとりの心のピースにハマる商品が揃っている。

文/横山博之

## ジグソニア1000 マイクロ

色々なピースが重なった、マニア心をくすぐるアートな絵柄。1000マイクロピース。サイズ：38×26cm。価格2420円。

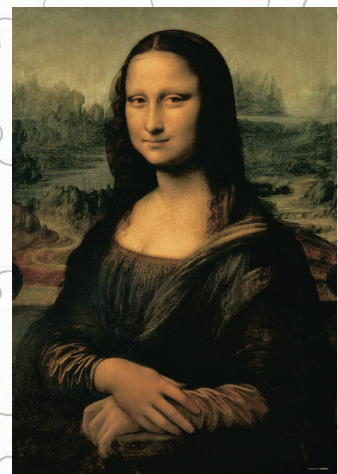


## 首都圏路線ネットワーク

首都圏の鉄道路線図をジグソーに。外出前にルートを確認するという実用性も。1000ピース。サイズ：72×49cm。価格3300円。

## 鮭ジグソーパズル

メニュー表のような、68種類の鮭が描かれた作品。シズル感もたっぷり。1000ピース。サイズ：72×49cm。価格3300円。



## モナ・リザ実物大

すべてのピースを組み合わせると、実物大のモナ・リザが完成。部屋に名画を。ピース数：1000ピース。サイズ：72×49cm。価格3080円。

## 金塊地獄

ハガキ大ながら、全面金色の高難易度タイプ。金塊型パッケージも個性的。108マイクロピース。サイズ：14.7×10cm。価格880円。



## 恐竜大きさくらべワイド

ワイドサイズの図版に恐竜を描写。パッケージの裏面には恐竜の解説文が掲載。352ピース。サイズ：51.5×18.2cm。価格1650円。



©ピバリー 03-3572-4972 <https://www.be-en.co.jp/>

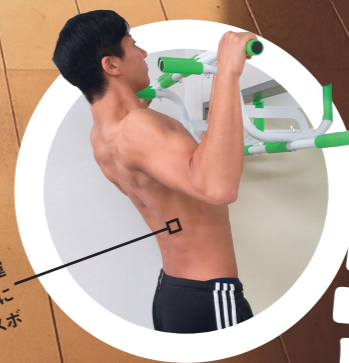
**小さなパーツを前に夢中になること間違なし!**  
必要なのはテーブルと時間だけ。つい夢中になってしまふジグソーパズルは、インドアで楽しめる王道ゲームだ。その歴史はかなり古く、1760年頃のイギリスで誕生したといわれている。地図製図技師であったジョン・スピルスベリーが、板に描かれたヨーロッパ地図を国境線ごとに切り取り、教材として作ったのが由来だ。その際、糸のこぎり(ジグソー)でカットしたことから、ジグソーパズルの名で親しまれるようになっていった。日本では1970年代初頭から輸入されはじめ、1974年に東京国立博物館で開催されたモナ・リザ展に合わせて多くの業者が同名画のジグソーパズルを販売したことで市民権を得たといわれている。そして現在、日本でジグソーパズル業界を牽引しているのがピバリー。難易度や図柄の幅も広いから、自分にあったモノを見つけれられるはず。何度も繰り返し遊んでもよし、完成品をインテリアとして飾ってもよし、この機会に手を出してみよう。



家に籠ってばかりじゃストレスは溜まる一方。だけど、こんな機会は一生に一度かも知れない。複雑パズルや模型製作、カードゲームや趣味のモノ・コト、まとまった時間のある、いまだからできるインドア大充実計画!

# 家に籠る……だからできるアレもコレも

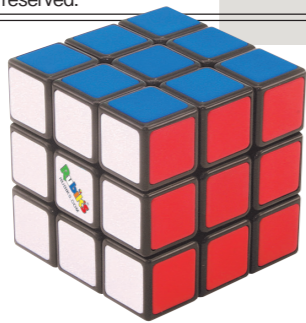
**ドアに引っ掛け 自宅で懸垂トレーニング**  
締め切り間際の4月20日、インドア特集にピッタリな新製品が飛び込んできた。場にそれだけでもマッチョPRO!。場所も取らず、自宅のドアに引っ掛けるだけで懸垂ができるトレーニングギアだ。日本の住宅に対応しているの、ほとんどの家のドアに取り付けが可能で、工具や穴開けは不要。思い立ったらいつでも手軽に懸垂トレーニング! 運動不足になりがちな自宅作業のお供にぜひ一台! 価格9999円(税別) クラウド・ディ研究所 045-988-5151





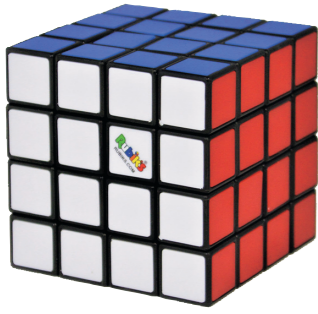
### ルービックフラット3×1

通常のルービックキューブが3×3×3で構成されているのに対して3×3×1になっているフラット形なルービックパズル。回していくと形も色も変わる。価格1078円。



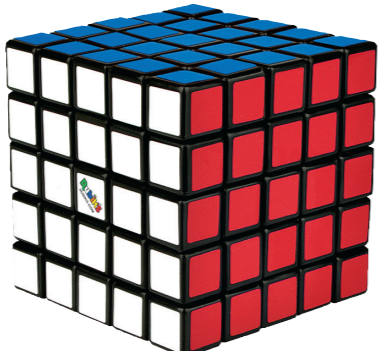
### ルービックキューブVer. 2.1

進化したルービックキューブ。配色がシールからカラープレート成型に変更され、内部構造が変わり回しやすくなった。専用スタンドと6面完成攻略書付き。価格2420円。



### ルービックキューブ4×4 Ver. 2.1

ルービックキューブ考案者のルービック氏がルービックキューブ攻略者へリベンジする為に作られたルービックキューブ。難易度は3×3の100万倍！価格3300円。



### ルービックキューブ5×5

ルービックシリーズで最も難解なパズル。サイズは通常のルービックキューブが57mm四方なのに対して、68mm四方。価格4180円。



ルービックキューブを解く子どもの脳活動を、近赤外線分光法装置を用いて計測している様子。右端が篠原篤紀教授。

今年2月、諏訪東京理科大学の篠原篤紀教授のもとで、小学校4～6年生の男女22人を対象とした「ルービックキューブによる脳活動への影響・創造性テスト成績の変化に関する調査」が行われた。昨今、教育改革により子どもたちは主体的に考え、正解のない問題にも自分なりの答えを見出していく地頭力、そして自主性、積極性、向上心などに関わる創造的思考力が必要とされている。調査では、ルービックキューブは地頭力と創造的思考力を向上させるという結果が出た。ルービックキューブを解いている子どもたちの脳活動を近赤外線分光法装置を用いて計測したところ、人間の地頭力の中核的な役割を担っていると言われる前頭前野が活性化していたという。つまりルービックキューブで遊んでいると地頭力が良くなるってわけだ。ルービックキューブが誕生して今年で40周年を迎えるが、今でもさまざまなタイプが登場している。あの頃、夢中になったモノマガイ人たちが、地頭力アップにぜひ！

# ルービックキューブで地頭力アップ!

今年、生誕40周年を迎えたルービックキューブ。これほど長く愛され普及し続ける理由は脳の活性化にあった!?! 最新の科学でわかったルービックキューブがもたらす驚きの効果と魅力を、改めてお伝えする

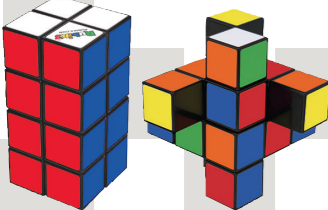
☎メガハウス☎03-3847-1757 <https://www.megahouse.co.jp/>

文/神田もつら



### 白いルービックキューブ

6面すべて白1色のルービックキューブ。ファアの面、合革の面、ツブツブの面など、各面の異なる感触が手がかりに、手触りで揃えていく。価格3080円。



### ルービックタワー 2×2×4 Ver. 2.1

シリーズ唯一の直方体パズル。2×2×4のタワー形で、回すと様々な形状に変化する。色だけでなく、形も揃えてはじめて完成となる。価格1980円。



# Rubik's®



### ルービック ゲージ

6色のキューブパーツを横に回転するゲージに入れ、同色を3つ並べて楽しむ対戦ゲーム。2～4名用。5月発売予定。価格2750円。



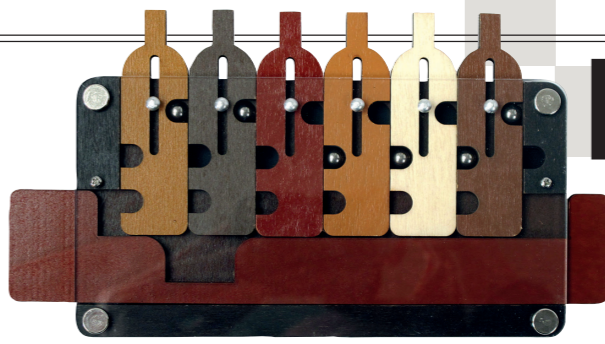
### 40周年記念 メタリックルービックキューブ

発売40周年を記念した全面メタリックカラーの限定モデル。シリーズ初の6色メタリック仕様。台座付きでインテリアとしても楽しめる。今夏発売予定。価格3080円。



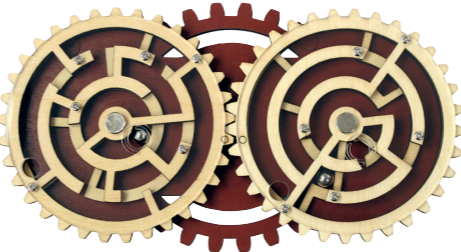
### アメイズキューブ

キューブの中に縦横無尽に張り巡らされた迷路を、わずかに直径4mmほどのボールで重力を駆使してゴールを目指す。突如として縦が横になったりする、スロープや階段を攻略しよう。価格1848円。



### ボトルメイズ

トレーに載った6本のワインボトル、それぞれに凹部とボールが配置されている。ボトルを上下にうまく動かして、トレーが動く隙間を作り、最後にトレーを盤から引き抜く。価格2750円。



### ギアメイズ

ギアを回して迷路を動かし、道を作ってボールを盤から取り出す。ギア同士は連動している上に両側にボールが配置されているので思い通りには動かない。価格2750円。



### ピラミックス

正四面体の4面の色を合わせる立体パズル。6面体よりも比較的簡単に遊べるので、立体パズルのビギナーにオススメ! 面を回転させる際のカチカチとした動きが心地よい。価格2750円。



### エッグキューブ

真っ白な卵型の、色を揃えるのではなく形を元に戻すユニークな形状の立体パズル。外形の目をはっきりと合わせるには至難の業、よく観察が必要だ。価格2750円。

# アタマを“かつのう”せよ

立体パズルの魅力を伝えることを使命とする創業87年のハナヤマが展開する「かつのう」シリーズは、世界の良質なパズルや新しいアイデアのパズルで、手軽に脳をエクササイズできるシリーズだ。

☎ハナヤマお客様相談センター☎0120-910-922 <https://www.hanayamatoy.com/jp/>



### ハノイの塔

1個ずつ円盤を動かし、大小7個の円盤を今の棒の位置から異なる位置の棒にうつす。ただし各円盤とも、自分より小さな円盤の上には置くことができない。価格1848円。



### 立体四目

16本の棒に球を順番に差し置いていく。縦・横・斜めと自分の球を4つ直線で並べて勝敗を決める。立体的に事を捉えて先を読む、簡単ながら奥深いゲーム。価格3278円。



### 王将出陣

一番奥に鎮座した王将駒を、スライドさせてなんとか前線に送り出して取り出すというパズル。サイズの異なる四角形の組み合わせで駒の動きが変わる。価格1848円。



### ニュートンのリンゴ

花まる学習会を母体とした「ワンダーラボ」監修の「ロジカルニュートン」シリーズ。二色のりんごを、12種類のパネルを組合せ、正しく振り分けるパズルゲーム。価格3278円。



### コロンブスのひらめきタマゴ

「ロジカルニュートン」シリーズ。縦列と横列の色と数をヒントにして16個のピースを正しい場所に配置するパズル。プログラミング的思考が身につく。問題は40問。価格2178円。



### ダブルキューブ

立方体を多面体に6つに割ったピースを12個つないだ形状で、継ぎ目を折ったり伸ばしたりすることで、様々な幾何学的な形に変形する。シルエット問題集付き。価格1848円。



# [CARE] Before



こまめなケアを怠り、すでにツヤも失われた筆者のシューズ。これを実際に磨いてみることにしよう。



1 リキッドクリーナーを布に染み込ませ靴全体に塗布。ブラシで落ちなかった汚れや過去に塗った靴クリームを落とす。

2 まずは最初に馬毛ブラシを使って、靴全体を丁寧にブラッシング。ホコリや大まかな汚れを落として下準備を整える。



3 次に豚毛ブラシを使って全体をブラッシング。塗布した靴クリームを革靴全体に伸ばして馴染ませていく。

4 靴クリームを豚毛ベネトレイトブラシに少しとり、靴全体に塗っていく。少量を複数回に分けて塗るのがポイントだ。



5 きめ細かい布を指に巻き、指先をわずかに湿らせる。そこに少量のワックスをとって、円を描くように革に塗り込む。

6 グローブテレンプを使って、馴染ませた靴クリームを乾拭き。こうすることで、より美しい光沢に仕上がるのだ。

# After!

## 新登場。自然由来の靴クリーム&革オイル

環境にやさしい、「自然から作った靴クリーム」と「自然から作った革オイル」が誕生した。自然由来の原料に加え、エジジカの油脂を使用し、ヒノキと柑橘系の香りを配合。シューケアが心地よい香りにも包まれる。価格各1320円

◎谷口化学工業所 ☎03-5611-7351

# 靴の手入れは大人の嗜み 選ぶならライオン靴クリーム本舗

## ライオン靴クリーム本舗 エクセレントシューケアボックス

基本的な道具に、より光沢をあたえるワックスを加えた高級セット。クリーム(黒)、ワックス(黒)、リキッドクリーナー、馬毛ブラシ、豚毛ベネトレイブラシ、白豚毛ブラシ、グローブテレンプ、磨き用クロス入り。価格5500円

毎日お世話になるもの、忙しさを理由にやっていた靴磨き。しかし、革は生きモノというように、普段の手入ひとつでその寿命を左右する。だからこの機会にシューケアを! いまやらずして、一体いつやる!?

よほどの靴好きでない限り、靴磨きは面倒な作業。これに異論の余地はないだろう。しかし、シューケアを怠っていると、汚れとともに、乾燥が進んで革が劣化。気がついたら色も褪せていた、なんにことにも。いくらスーツがきちんと履いていても、そんな靴を履いているようではビジネスマン、いや大人として恥ずかしい。

お勧めだ。なかでも間違いないのが、ライオン靴クリーム本舗の「エクセレントシューケアボックス」。一般的にセットという普及品を詰め合わせただけ……、といった印象はあるが、そこは創業明治43年、日本最古の靴クリームメーカー谷口化学工業所が製造するシューケアセット。天然カルナバワックスなどの厳選した原料を配合した乳化性クリームや油性ワックス、ブラッシングに適した馬毛ブラシ、クリームを延ばして馴染ませるのに最適な豚毛ブラシなど、同社の自信作が詰め込まれている。毎日お世話になる靴だからこそ、自分の手で磨こう。一層、愛着が深くなることは間違いない。

ワックスを塗ったトゥ。ロウでコーティングされ、美しい光沢に仕上がった。

写真では分かりづらいものの、見違えるほど美しくよみがえったマイシューズ。これからはもっと大切に扱おう。



# [CARE]

## ハウード シトラスシールド・プレミアム・ペースト・ワックス

アンティーク家具やキャビネット、羽目板、床のツヤ出しと保護にすぐれたワックス。高濃度のブラジル産カルナバ蠟と蜜蝋が、木目の天然の美しさを高め、艶やかで長く持続する輝きをあたえてくれる。塗膜を有害な紫外線から保護するUVシールドも含有する。塗装面のみならず、コンクリート、大理石、金属にも使用可能だ。価格3850円(312g)

## ハウード フィーデン・ワックス

木製家具、アンティーク家具やキャビネットに栄養をあたえ、乾燥や色褪せ、ひび割れからの保護に最適な専用ワックス。あらゆる木の表面を磨いてやさしい光沢をあたえ、カルナバ蠟と蜜蝋のコーティングで保護しながら、木目の自然の深みと美しさを高める。塗装済み、無塗装を問わずに使用できる。価格1320円(140ml)、1760円(236ml)、3190円(473ml)



上はフィーデン・ワックス、下はクリーナー・フィニッシュ。塗布面と非塗布面を比較すると、違いは一目瞭然。



## ハウード クリーナー・フィニッシュ

ツヤ出し、ワックスがけ、補修の下準備として木部塗装の汚れを落とす専用クリーナー。自然にやさしく強力なナチュラルソープをブレンドし、木の表面の汚れを効果的に除去。キッチンキャビネットやダイニングテーブルの油汚れも容易に分解してくれる。塗装面やプラスチック、布張り家具、ビニールへの使用も適している。価格2200円(473ml)



◎ゼンブジャパン ☎06-6441-2263

# 家具の力がツヤ出し 始めよう

普段なら気にならないけど、在宅時間が長くなると気になり出す、イスやテーブルのキズや塗装の退色。こんな機会だからこそ、二気にツヤ出し、やってみないか!?



## 皮革製品も

### ハウード レザー・コンディショナー

独自にブレンドしたクリームが皮革に深く浸透し、ひび割れ、すり傷、乾燥腐敗を防ぎ、美しさを保護するスムーズレザー用コンディショナー。ベタつきも気にならず、靴、靴、ソファやジャケット、クルマの内装ほか、革小物の手入れに最適だ。価格880円(59ml)、1760円(236ml)



### ハウード レザー・クリーナー

スムーズレザーの泥、ホコリなどの汚れをやさしく取り除くクリーナー。レザー・コンディショナーを塗布する前の下準備として、靴、靴、家具やクルマ、革小物の汚れ落としにしたい。価格2420円(473ml)



# PLAYER

## 正統に進化したアナログプレーヤー

プロジェクトX2  
価格18万7000円  
(6月発売予定)

プロジェクトらしい機能美を追求したミニマルデザインのレコードプレーヤー。新型の9インチトーンアームを搭載しており、カーボンアーム特有の共振を大幅に軽減しているのが特長だ。高機能MMカートリッジをブリマウントしており、オーバーハングやアジマス等は調整済みという嬉しいポイントも。ファン待望のプロジェクトの最新レコードプレーヤー、ここに降臨。

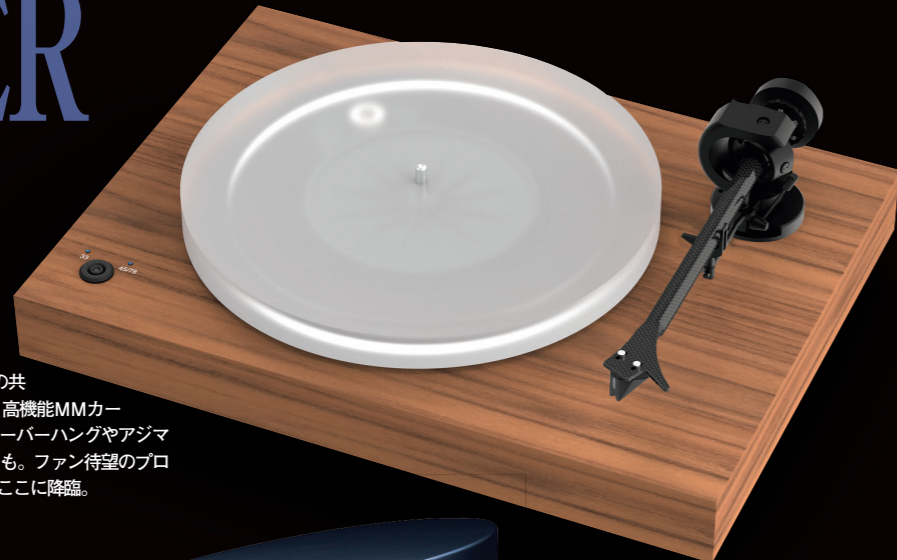
☎D&M ☎0570-666-112

## 極める 自宅 美音!

マーティン・ローガン/  
Electro Motion ESL X  
価格88万円(ペア)

リビングに広がるとても美しく音の広がりや深み……思わずこんな世界があったのか。価値観揺さぶられる感動体験に出逢えるのもピュアオーディオの魅力だが、その一例が米国マーティン・ローガンの静電型スピーカー。価格からして壮大だが、静電技術や薄膜技術に応用した独自の設計思想が確実に世界を変える。

☎PDN ☎045-340-5565



全帯域ベリリウム  
超絶ニュートラル美音

パラダイム/  
ベルソナB  
価格165万円(ペア)  
オールクラフト・イン・カナダのパラダイムによる、高い音の伝導率特性を持つ鉱物由来純度99.9%のベリリウム振動板を採用し、驚異的な音の透明度を実現した、夢のブックシェルフスピーカー。ニュートラル美音の究極の形がここにあると断言できる。美しいアリアブルーメタリックの仕上げもオレの部屋にお似合い。男のロマン昂ぶる!

☎PDN ☎045-340-5565

憧れのピュアオーディオの世界!  
アンプ、プレーヤー、スピーカーの  
三種の神器を揃えたい!

ピュアオーディオの究極の目的は原音再生に尽きるが、設計思想や素材などそのアプローチは実にさまざま。王道のHi-Fiスタイルはもちろんのこと、昨今では気づきある新発想のスタイルを提案する海外ブランドも続々日本上陸。いま、感性を刺激する大人のピュアオーディオがおもしろい。

## CASE.01

静電パネルが生み出す  
広大サウンドステージ



## インテリアに調和するHi-Fiコンパクトスピーカー

モニターオーディオ/  
モニター50  
価格3万6300円(ペア)

本棚のなかにレイアウトしてもしっかり性能を発揮する王道のブックシェルフ型スピーカー。キューブデザインがインテリとも好相性な雰囲気だが、メタルユニットのバイオニアとして定評のある英国モニターオーディオ社の仕事だけあって、コンパクトボディながらもその色つけない美しい高域とダイナミックな低音は充分すぎるHi-Fi品質だ。

☎ナスベック ☎0120-932-455

# SPEAKER

## ここから全てが始まるイチオシ“三種の神器”がセット 特別セット価格で50セット!

アトール/IN30  
価格9万3500円  
アトール/CD30  
価格10万4500円  
ディナウディオ/Emit M10  
価格9万9000円

まずは多くの人に真実の音楽を聴いてほしいと、独自のアプローチでHi-Fiオーディオを展開している粋なブランド・アトールのプリメインアンプ「IN30」。上質パーツと設計の妙で低負荷帰還回路とディスクリート電源を実現。その相俣には、高純度で抑揚の大きな再現性を実現するCDプレーヤー「CD30」で決まり。奏でるスピーカ

ーはコンパクトながらも極めて感鋭深い低域再生を發揮するHi-Fi入門に最適なディナウディオEmitのM10をオシたい。ちなみに、目下、写真のいい感じな「IN30」「CD30」「M10」の“三種の神器”が22万円(通常29万7000円、愛情たっぷりプライスダウン!)の特別セット価格で販売中! 限定50セットなので善は急げ!

☎ディナウディオジャパン  
☎03-5542-3545



## デジタル録音で 失った音を 聴いて みたくはないか?

デノン/PMA600NE  
価格5万7200円

デノン/DCD600NE  
価格5万1700円

デノンNEシリーズの高音質技術を受け継ぐエントリークラスのプリメインアンプ(PMA600NE)とCDプレーヤー(DCD600NE)。PMA600NEはデノンがアンプで最重要視する「繊細さと力強さの両立」を実現する回路設計に、Bluetooth&デジタル入力の利便性をプラス。DCD600NEは独自のアナログ波折再現技術「AL32 Processing」でデジタル録音時に失われた微細な音まで復元し、本来の美音を忠実再現。ピュアオーディオの目覚めにふさわしい実力コンビだ。

☎D&M ☎0570-666-112

## ピュアオーディオ環境 をこの上なく手軽に!

マランツ/PM5005  
価格3万5750円  
マランツ/CD5005  
価格3万5750円

これから美音道を極める(深みにハマる!)のにその入り口として最適なプリメインアンプ(PM5005)とCDプレーヤー(CD5005)。PM5005はシリーズ初となるフルディスクリート・プリアンプを搭載し、エントリーモデルながら上級機に迫る音楽再現性を実現。一方、CD5005はDAC、メカエンジンを一新し、さらに進化させたエントリーモデルで、両者ともにマランツのHi-Fiサウンドを気軽に堪能できるベストセラーのコンビだ。一気に2台揃えたい。

☎D&M ☎0570-666-112



# AMPLIFIER

## 男ならいまこそ 真空管アンプの世界へ!

トライオード/Luminous84  
価格14万800円

根強い人気のある真空管プリメインアンプ。トライオードのラインアップではエントリーだが、音質に優れた6BQ5(EL84)のサウンドをコンパクトボディに凝縮。シンプルで使いやすい。フォノイコライザ回路も搭載しているので、人気再燃久しいアナログレコードプレーヤーに接続してあたたかみのある美音を堪能するのもオツだ。

☎トライオード ☎048-940-3852



# CASE.02

## 入門編 入門編・エントリー層にオススメ!



**JB-320LM**  
価格14万3000円~21万9890円  
真空管アンプのなかで最も人気のある「300B」と「2A3」のコンバーチブル・プリメインアンプ(ボリューム、入力4系統セレクター付き)。電源部は組立済み、入出力部、機構部品は取付済みで、電源増幅部の基板1枚の制作とわたり配線を行うタイプのキットなので、半田づけは経験あるけど真空管アンプは初めてで不安アリというビギナーのあなたに最適!

## 中級編 中級編・真空管アンプの楽しみをより深く

**SV-S1616D【多極管仕様】キット**  
価格8万8000円~11万7150円

“サンバレー”の原点回帰的なパワーアンプで、一言でいえば“自作派応援キット”。オール手配線キットに挑戦してみたいというユーザー向けにつくられたもので、シャーシ、トランス、機構部品は共通。「300B」「多極管(6L6系、KT88系)」など自分がつくりたい出力管仕様を選べる。電圧増幅部などがユニット化されているので手配線ビギナーも安心だ。



## 上級編 超上級編・マニアなあなたへの挑戦状

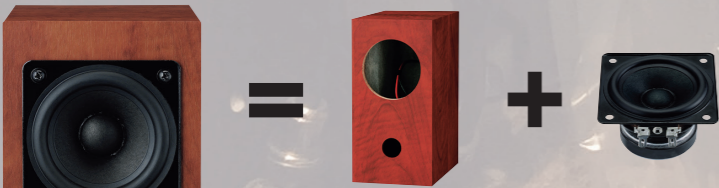


©サンバレーオーディオ ☎0556-54-2720

**SV-P1616D【300B仕様】キット**  
価格12万1000円~32万5400円

ベアチューブであれば各種「300B」を無調整で挿し換えて自己バイアスアンプ。“サンバレー”の大ヒット「1616(イロイロ)」シリーズの最高級モデルとして、つくって楽しい!そして聴いてよし!を高いレベルで両立させた大橋さんの熱い想いが詰まったキット。手配線が主で、作業が煩雑な電源部などは基板化。組立後のパーツのグレードアップも自由自在だ。

## スピーカーも自作



**フォステクス/かんすび**  
P800-E 価格2090円(1本)  
P800K 価格1760円(1本)

フォステクスが展開している手軽に自作が楽しめる本格スピーカーキット“かんすび”シリーズ。オススメはフルレンジスピーカーの魅力を増強できるベーシックなバスレフ型スピーカーボックス「P800-E」と、8cm口径フルレンジスピーカーユニット「P800K」のコンビ。自分だけのオリジナルスピーカーを簡単に組み上げることができる。

©フォスター電機 ☎0428-28-3450

つくり方は、スピーカー本体にユニット位置を決めてマーキング。ネジ仮留め、ケーブルとスピーカーユニットの端子の色を合わせて接続したら、ネジにワッシャーを通してユニット固定、ネジ留め。背面にスピーカーケーブルを取り付けアンプ接続したら自作オーディオ完成!



**フォステクス/パーソナル・アンプ**  
AP05mk2  
直販価格7337円

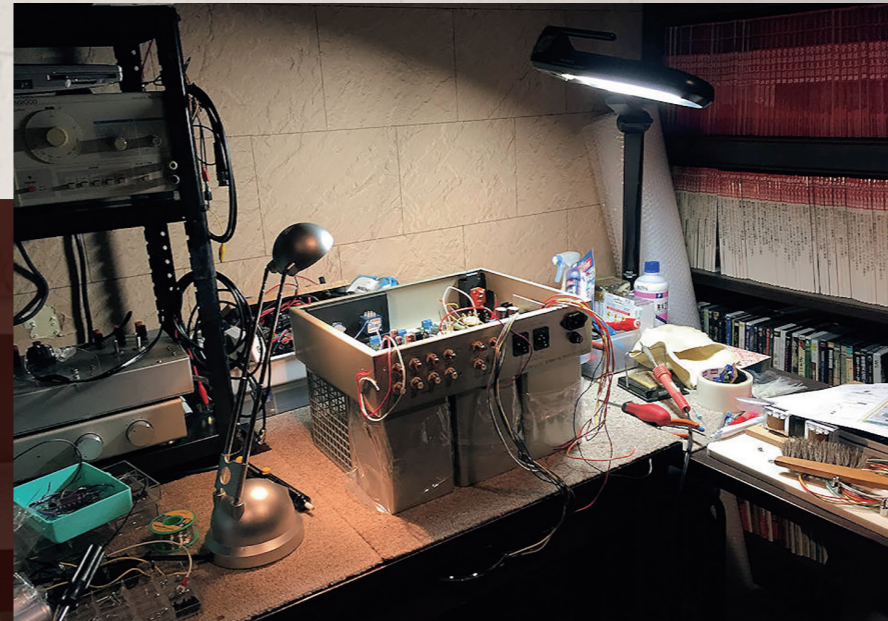
“かんすび”などのDIYスピーカーとの組み合わせに最適なコンパクトサイズのパーソナル・アンプ。出力は5W+5Wで、カードサイズ筐体ながらもバランスの良い高音質を実現。調整しやすい大型ボリュームノブをセンターにレイアウトし、シンプルながらも使い勝手の良いデザイン。オートスタンバイ機能搭載のエコ設計もうれしい。

## ミスター真空管・大橋さんが 推薦する自作コースはコチラ!

「ミスター真空管・大橋さんが推薦する自作コースはコチラ!」  
「ミスター真空管・大橋さんが推薦する自作コースはコチラ!」  
「ミスター真空管・大橋さんが推薦する自作コースはコチラ!」

規格にしているのも人気の理由。「簡単なもので集中して2日くらいで完成しますが、できれば2週間くらいかけてゆっくりつくっていくのが楽しいですよ。最初はここでも紹介している「JB320LM」のようなプリント基板タイプから入って半田づけ職人になるのがスムーズ。もちろん、お客さまが最初から手配線できたいというところであれば、全力でサポートします。ただ、自作オーディオは一度やり出すとめっちゃめっちゃハマりますよ。写真で例えるなら銀塩カメラでシャッターを切るメカ感の楽しさの追求みたいなものかな。スマートフォンでカシヤカシヤ撮ると同じことをやっているのに、向き合っている自分はいかに自分なものです。」というわけで作るオーディオ、サンバレー、じゃなくてガンバレー!

「ミスター真空管・大橋さんが推薦する自作コースはコチラ!」  
「ミスター真空管・大橋さんが推薦する自作コースはコチラ!」  
「ミスター真空管・大橋さんが推薦する自作コースはコチラ!」



「世の中のスピードが物凄い速くてあつという間に車窓の風景が変わる。それが、ふと気づくと目の前にあるものがなにも動いていない。そのなかで、自分の時間がどうあるべきか? そんなことを自問自答して、オーディオというキーワードから自分を紐解いてみたいという人たちが少なからずいるのだと思います」とは真空管アンプキット専門店「サンバレーオーディオ」の店主・大橋慎さん。小誌でも度々紹介している自作真空管アンプの自作は実はイマドキの最先端!?

# 自作真空管アンプのカリスマが語る オーディオ機器を作る快樂

管アンプのカリスマだが、このところ、同店にモノマガ世代からの問い合わせが増えてきているという。「そもそも真空管アンプは男のロマンのひとつ。好きなメカに囲まれるガジェット的な魅力はもちろんです。好きな音で聴きたいとか、それを叶えてくれるものをつくりたい、没頭したい、耽りたいというニーズがあるのではないだろうか」大橋さんを筆頭に真空管アンプを愛し続けるファンにとってその最大の理由は音に尽きる。「採れたての野菜をそのまま水でザブツと洗ってかぶりつくような鮮度感、採れたて感がたまりません。真空管も懐古主義のイメージもありますがそれは誤解。音を伝えるときに実際に温度が高いので、あたたかい音なのは事実ですが、でも懐かしいとかではないのです。現在の音楽制作の最先端では真空管アンプが積極的に使われ



佇まいも魅力の真空管アンプだが、音楽の生々しさや演奏者の想いが伝わる心地よい音が人気。デバイスとしては古い(だから構造がシンプルで自作できる!)が、100年経っても変わらず無くなる完成度の高いオーディオといえる。

**サンバレー 大橋慎さん**  
1964年愛知県生まれ。アパレルMDを経て'98年、真空管アンプキット専門店「サンバレーオーディオ」を立ち上げこれまでに延べ約7万台を出荷。東京FM系の音楽番組でパーソナリティも務める。





**けだるく、ナロウなムードに身をまかせたい**  
**ピンク・フロイド／原子心母**  
 (1970年)  
 フロイドで1枚となると、多くの人が「狂気」を選ぶだろうが、たかみは「原子心母」、これしかない。別にいまさらこの組曲が「ロックとオーケストラの完璧な融合」であるとか、「プログレ」という言葉を生み出した記念碑的な作品だからとかいうつもりはない(いてるって!)。まして、ヒプノシスの「振り向き牛」に魅せられてしまったわけでもない。ほくはアルバム全体に漂う、けだるく、それこそナロウなムードに惚れ込んでいる。それだけだ。



**キング・クリムゾン×イエス÷フリージャズ!?**  
**キング・クリムゾン／リザード**  
 (1970年)  
 プリティッシュ・ジャズの俊英たちを多数ゲストに迎え、ジャズへのアプローチをより鮮明に示した3rdアルバム。たかみ最愛のドラマ、アンドリュウ・マカロック、マクドナルドに劣らない実力のサクソフ/フルート奏者メル・コリンズ、そしてプリティッシュ・ジャズ界の重鎮ピアニスト、キース・ティベットに加えて、ゲストにイエスのジョン・アンダーソンまで呼び寄せてしまって、万全を期してのアルバム制作となり、空前絶後の傑作アルバムが誕生した!

**第1期のプログレ風味を脱ぎ捨てたHRの名盤!**  
**ディープ・パープル／イン・ロック**



(1970年)  
 はっきり言ってたかみが好きなのは、ロッド・エヴァンスが在籍していた初期パープルなのだ。しかし、さすがにパープルから1枚選ぶとなると、初期3枚から選ぶ勇気がなかった(苦笑)。で、妥協点として、特に日本のみなさんが大好きな本作に決定。初期3作のムードが残る「チャイルド・イン・タイム」は名曲。これはいい。でも自分としてはこの曲、エヴァンスに歌わせてみたかったなあなんて思う。パープルファンのみなさん、ごめんなさい!

**「フリーには若さがあふれている!」**  
**フリー／ファイアー・アンド・ウォーター**



(1970年)  
 ブルース指向の若者たちが集まって、1969年にデビューしたバンドの3rd。なぜかアメリカでは受けなかったが、英本国と日本では好意的に受け入れられた。正直彼らの演っていたブルースをベースとした音楽は強い。本作には「オール・ライト・ナウ」というヒット曲が収録されているものの、全体的には通好みのブルースロックだ。日本の担当ディレクターもどう売っていいのかわか困ったのだろう、LP時帯にはこうあった。「フリーには若さがあふれている!」



**眼前で繰り広げられるおとぎ話のような大人のロック**  
**インクレディブル・ストリング・バンド／I**  
 (1970年)  
 プリティッシュ・フォークには素敵なアルバムが多いのだが、このISBの2枚組などは超愛聴盤だ。不思議な不思議なアシッド・フォークバンドの集大成的な本作は、とにかく楽しい。眼前でなにやらおとぎ話的な劇でも観せられている錯覚に陥る。次々と登場する民族楽器による東洋指向の幻想的なサウンドは、一度ハマると抜け出せない。「ザ・ジャグラーズ・ソング」「タイム」「ロケット・ブルース」「アイ・ノウ・ユー」ぜひ一度お聴きいただきたい!



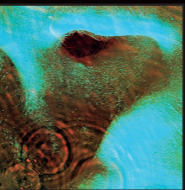
**聴かずに死ぬな。プリティッシュフォークの至宝。**  
**トレイダー・ホーン／朝の光の中で**  
 (1970年)  
 これぞ正しく英国フォークの至宝だ。ジャッキー・マコーリーとジュディ・ダイブルからなる“ファンタジック”フォークデュオが残した唯一作は、ストリングスやフルート(マコーリー)、オートハープ(ダイブル)を効果的に配し、ジャケットの世界そのままでのメルヘンチックな世界が展開されている。とにかく全曲が名曲で、アレンジも素晴らしい。記憶だとLP時とCDの2回もライナーノーツを書いているくらいのお気に入り盤なのだ。絶対オススメ!

**すべてを破壊するタルカスが大好き!(音楽ではなく?)**  
**エマーソン・レイク・アンド・パーマー／タルカス**

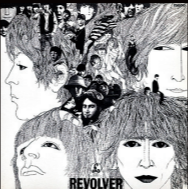


(1971年)  
 ELPも一般的には「恐怖の頭脳改革」が代表作。でも、たかみは断然「タルカス」だ。3大ギタリストの例を出すまでもなく、かつてロックの主役はギターであった。しかし、エマーソンの出現によって、キーボーディストにもスポットライトが当たるようになり、世界中にELPスタイルのバンドが出現した。その功績は大きい。すべてを破壊し尽くす怪物にしては豆タンクみたいな、どこか愛嬌のあるタルカス、たかみは大好きだ。(音楽じゃないのかい!)

**これがシンフォニック・ロックの到達点!**  
**ピンク・フロイド／おせっかい**



(1971年)  
 「原子心母」みたいな傑作を創ってしまったら、次作はどうなるのだろうかなんて思っていたら、そんな心配は「おせっかい」だった!(そういう意味なのか?) アルバムはシングルカットされた「吹けよ風、呼べよ嵐」で始まり、LP時Bサイドすべてを使った大作「エコーズ」へと続く。仏ミュージック・コンクレートの巨匠ピエール・アリの作品、「オルフェ」からヒントを得たと思われるフロイド流幻想旅行は、シンフォニック・ロックの到達点だ。



**印象深い名曲がすらりの7作目**  
**ビートルズ／リボルバー**  
 (1966年)  
 7作目のオリジナル・アルバムは、次作「サージェント・ペパーズ」と並ぶサイケの最高峰とされる。アレンジに数々の先進的な試みがなされており、印象深い名曲がすらりと並ぶ。「エリナー・リグビー」「ヒア・セア・アンド・エヴリホエア」「イエローサブマリン」「フォー・ノー・ワン」等々。そしてジョージの曲が3曲も収録され、「タックスマン」は彼初めてのオープニング・ナンバーとなった。個人的にビートルズで最愛のアルバムだ。



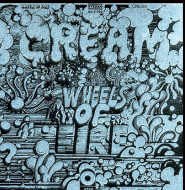
**究極のコンセプトアルバム(ただしジョンは否定)**  
**ビートルズ／サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド**  
 (1967年)  
 20世紀を代表するロック名盤として、No.11に選ばれることの多い8作目。「ベッパ-軍音楽団のショウ」形式で構成された。(アーティスティックなジャケットも含めて)究極のコンセプト・アルバム(ただし、ジョンは否定)。世界的サイケ・ブームもあり、前作以上にサイケ色が色濃く反映されたサウンド創りがなされている中、「シーズ・リーヴィング・ホーム」や「ア・デイ・イン・ザ・ライフ」といった決定的な名曲もしっかり織り込まれている。

**完璧なるロックとオーケストラの融合!**  
**ムーディー・ブルース／デイズ・オブ・フューチャー・パスト**



(1967年)  
 プログレ先駆者バンドの金字塔的2nd。完璧なるロックとオーケストラの融合を成し遂げた歴史的傑作だ。また、一日の始まりから終わりまでを表現したプログレ初のコンセプト・アルバムであり、ムーディーズ風「新世界」と言える。さらに、プログレバンドとして初めてメロトロンを大々的にフィーチャーした画期的な作品なのだ。J・ヘイワードが歌うテーマ曲「サテンの夜」は、まるで感動的な映画のラスト・シーンのようで、目頭が熱くなる。

**どれも泣きながら聴くしかない名演!**  
**クリーム／クリームの素晴らしき世界**



(1968年)  
 クラプトン(g)、ブルース(b/vs)、ベイカー(ds)からなる偉大なスリーピースが残した真の歴史的名盤。当時は珍しかったスタジオ録音とライブ録音の2枚組(日本では当初バラ売りされた!)。基本ブルース・ロックでありながら、達人の技でサイケ・サウンドもしっかり打ち出している。「ホワイテ・ルーム」「クロスロード」「スプーンフル」、どれも泣きながら聴くしかない名演奏だ。本作は、たかみが初めて買ったロック・アルバムなのだ!

一度は聴いておきたい英米ロックアルバム100枚を厳選!

英米転石音楽名盤

100

[ステイホーム 特別企画] 文・選 / たかみひろし

The Young Persons' Guide to British & American Rock BEST 100

必聴ロックのてんご盛り! 快楽アルバムのご紹介! 1970年代の数多い英米ROCKアルバムから、これだけは欠かせない、一度は聴いておきたい“流石”(Rolling Stone)な名盤100枚を厳選。

すべての世代の方が、一度は聴いておくべき英・米ロック名盤100!

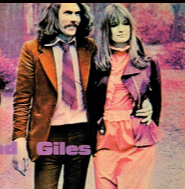
今回は(なぜかページ数が確保できたこともあって)1970年代の(一部)1960年代(後期)ロック名盤を、英米合わせて100枚紹介することができますことになった。一般的に知られるロックの歴史的名盤を100枚紹介するの(特に若い方)に対しては、とても意味のあることだと思いが、前田編集長(モノマガ)も「暴露する」とこの御方も半端ないプログレファンなのだ! たかみさん色を思い切つて出してください。そのほうが面白い! という言葉に勇気づけられて、(たかみ好みの)一度は聴いておきたい英米ロックの名盤100という意味で、「男の70Sロック名盤100」の紹介と、あいなった。だからBEST100でよくあるワンアーティストの最高傑作を1枚ずつ選定というセオリーを無視して、例えばキング・クリムゾンは遠慮なく4枚選ばせてもらったし(本当は「レッド」だって入れたかった! 涙目)、他のライターさんなら絶対選ばないだろうアルバム(トレイ

**静と動が感動的に美しい非ロック・クリムゾン**  
**キング・クリムゾン／アイランズ**



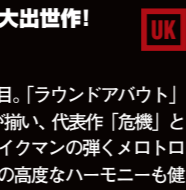
(1971年)  
 リードヴォーカル(ボス)とドラマー(イアン・ウォーレス)を新加入させてのレコーディングとなったが、ギグの合間にこなしたため、かなり偶発性に任せられた部分があったらしい。そのためかバラエティに富んだ構成となっている。「アイランズ」の前に挿入された室内楽風の「プレリユード:かめめの歌」などは、ここだけ聴いたら、切ない映画のサウンドトラックと勘違いしそうだ。全体的には静と動の構成が効果的な美しいアルバムに仕上がっている。

**ツアーに疲れ果てた二人の男の白鳥の歌**  
**マクドナルド・アンド・ジャイルズ**



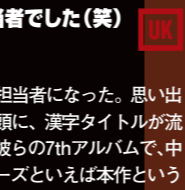
(1971年)  
 アメリカのツアーに疲れ果てたマクドナルドとジャイルズ兄弟は、クリムゾンを脱退して、休養する道を選ぶ。ジャイルズ兄弟が、やむなくクリムゾン2ndアルバムのレコーディングにゲスト参加した後に吹き込まれたのが本作だ。「キング・クリムゾンから牧歌的な部分のみを抽出したのがマクドナルド・アンド・ジャイルズだ」と評論家は言う。個人的には「宮殿」に勝るとも劣らない素晴らしいアルバムだと思うが、ジャケットだけはいただけない。

**鍵盤の貴公子が降臨したバンドの大出世!**  
**イエス／こわれもの**



(1971年)  
 リック・ウェイクマンが新加入した4作目。「ラウンドアバウト」「南の空」「燃える朝やけ」と最高の楽曲が揃い、代表作「危機」と同等の評価を与えたいアルバムだ。ウェイクマンの弾くメロトロンのはみは特筆モノだし、相変わらずの高度なハーモニーも健在。ところでイエスといえは演奏力の高さではクリムゾンと並ぶレベルだと思うが、レコーディングが優れていることもあり、オーディオ評論の際のリファレンスCDとしてもピッタリなのだ。

**この頃たかみは、ムーディーズの担当者でした(笑)**  
**ムーディー・ブルース／童夢**



(1971年)  
 本作発売後に、たかみはムーディーズの担当者になった。思い出深いアルバムだ。当時「原子心母」を筆頭に、漢字タイトルが流行りだった。「童夢」もまた傑作。本作は彼らの7thアルバムで、中期の代表作だ。プログレ界で、ムーディーズといえは本作というくらい人気が定着している。オープニングから思わせぶりなイフェクトが続き(「プロセッション」)、名曲「ストーリー・イン・ユア・アイズ」につながる瞬間は何度聴いても感動モノだ。



**プログレシンの夜明けを告げる大感動作**  
**キング・クリムゾン／クリムゾン・キングの宮殿**  
 (1969年)  
 ロックなんて興味のない方でも、このジャケットを見てしまったら、忘れようがない。どなたもご存知のように、プログレ・アルバムの墓碑銘的じゃなかった。記念碑的な作品で、その後のプログレシンの多大な影響を及ぼした決定的な一枚だ。ロックにジャズやクラシックの要素を見事に導入した重厚かつ深遠なサウンドは、他に類を見ないものだ。本作で聴けるメロトロン(の荘厳な響きは、プログレシンの夜明けを告げるがごとく感動的だ。



**「ヴァレンタイン組曲」がプログレ大作指向の扉を開いた!**  
**コロシウム／ヴァレンタイン組曲**  
 (1969年)  
 ジョン・ハイズマン(ds)率いるジャズ・ロック・バンドの2nd。プログレ・バンドはLP時代、よく片面すべてを使った大作を発表したものだだったが、本作の「ヴァレンタイン組曲」は、プログレ大作指向の走りであり、ジャズ・ロックの代表的なナンバーとして語り継がれている。バンド解散後はハイズマンがテンペストを、サウンド面でのリーダーとも言えるデイヴ・グリーンズレイドは、ツイン・キーボードで人気のグリーンズレイドを結成する。

**たとえようもない美しさが全編を包む美作**  
**ルネッサンス／ルネッサンス**



(1969年)  
 伝説のヤードバース出身のメンバーが結成したとはとても思えない、気品あるクラシカル・ロックを奏するバンドのデビュー作。ジョン・ホウケンの(ベートーヴェンから影響を受けた)格調高いピアノ(ハーピシコード)・ブレイがアルバム全編でフィーチャーされており、ジェーン・レルフのハスキー・ヴォイスとの絡みの美しさは例えようもない。バンドはもう一枚アルバムを作つて自然消滅してしまうも、後年イリュージョンで復活を果たす。

**後のヒット曲「噂」とはほぼ別人の初期MAC**  
**フリートウッド・マック／ゼン・ブレイ・オン**



(1969年)  
 1967年、ブルース・ブレイカーズのメンバーだったピーター・グリーン(g)、ジョン・マクヴィー(b)、ミック・フリートウッド(ds)等が結成した歴史あるブルース・ロック・バンドの3rd。初期のリーダー、グリーン在籍時のラストアルバムとなったが、ブルース・ロックの枠にこだわらず、中にはシャドウズを思わせるような美しいギター・インストウルメンタル・ナンバーが含まれていたりして、実にリラックスして楽しめるアルバムに仕上がっている。



**このメンツじゃ1枚しか保ちませんで……**  
**ブラインド・フェイス／スーパー・ジャイアンツ**  
 (1969年)  
 エリック・クラプトン(g/vs)とジンジャー・ベイカー(ds)の元クリーム組に、元トラフィックのステイヴ・ウインウッド(vo/g/kbd)と、元ファミリーのリック・グレッツ(b)が合流したスーパーグループが残した唯一作(英米共にNo.1獲得!)。ウインウッドの「泣きたい気持ち」や「歡喜の海」、そしてクラプトンの「プレゼンス・オブ・ザ・ロード」と、彼らの代表的なナンバーが収録されている必携盤だ。少女のヌードジャケットは、当時物議を醸した。



**最高に格好いい「ギミー・シェルター」一発でKO!**  
**ローリング・ストーンズ／レット・イット・ブリード**  
 (1969年)  
 王者ストーンズの10作目。全英1位、全米3位を獲得した初期代表作にして、ロックの古典的名盤として知られる。初期のリーダーであったブライアン・ジョーンズが、レコーディング中に脱退するというハプニングがあったにもかかわらず、アルバムには彼らの確信に満ちた力強いロックンロールがぎっしりと詰め込まれている。ミックと女性ソウル・シンガー、メリー・クレイトンのコーラスが実にカッコいい「ギミー・シェルター」一発でKO負け。



# 🇬🇧 Spirit of England



**プログレ姉御率いる奇妙なインテリロック集団**  
**カーヴド・エア／エアカット** (1973年)  
女性プログレVo.と言えばルネッサンスのアニーが本バンドのソーニャが東西機軸。前者はキレイなお姉さん、後者は姉御？ カーヴド・エアは正規音楽教育を受けたメンバーにロックVo.のソーニャを祀った奇妙なバンドで、ヴァイオリン・サウンドが特長。本作は大幅なメンツ入れ替えに伴い、後にU.K.で活躍するE・ジョブソン等を加えた4作目で、ロック色の強い一枚。ヒットシングル「今日突然に」を含む1st、「バック・ストリート・ラブ」を含む2ndも推薦。



**どうしてもライブが見たくて英国まで行きました!**  
**グリーンズレイド／グリーンズレイド** (1973年)  
元コロシアムのキーボード奏者が結成したグリーンズレイドは、ダブル・キーボード＝ギターレスというスタイルが特長。本デビュー作と次作はプログレ・マストアイテム。たかみが最も好きなプログレバンドのひとつで、昔々どうしても彼らのライブを観たくて、イギリス某大学のコンサートに紛れ込んだのが懐かしい。実際に観た(元クリムゾンの)アンドリュー・マカロックのドラミングはすごかった！ ロジャー・ディーンのジャケットがまた最高。



**メジャーになれないメジャー級「VDGG」の頂点作**  
**ヴァン・ダー・グラフ・ジェネレーター／ボーン・ハーツ** (1973年)  
5大プログレバンドに劣らない実力がありなら、日本でもうひとつ人気でないのが残念なバンド、VDGGのカリスマ・レーベルからの4th。クリムゾンのR・フリップがゲスト参加。VDGGはミュージシャン仲間からの評価は非常に高いのだ。LP発売時は彼らのほとんど(全部?)のアルバムのライナーノーツは、たかみが書いた。他に書き手がいなかったからだ(苦笑)。当時ロンドンで全盛期のライブを2度観たが、本当に素晴らしいのをよく覚えている。



**名曲「モッキン・バード」収録も、音楽はモノマネに非ず!**  
**パークレイ・ジェイムス・ハーヴェスト／ワンス・アゲイン** (1971年)  
クリムゾンやムーディーズと並んで、最も多くメロトロンをフィーチャーするので有名なシンフォニック・ロック・バンドの2nd。後にエニドを結成するロバート・ジョン・ゴドフリー指揮のパークレイ・ジェイムス・ハーヴェスト・シンフォニー・オーケストラを起用。哀愁のメロトロンもこれでもかと登場。大作「シー・セッド」、美しきメロディーの「ギャラドリール」、壮大なオーケストレーションの「モッキン・バード」等々、彼らの代表曲を収録。

**ギターをもった渡り鳥、ホールズワース参加の豪快HR**  
**テンペスト／テンペスト** (1973年)  
元コロシアムのドラマー、ジョン・ハイズマンが中心となり、1972年に結成したハード・ロック・バンドのファースト・アルバム。本作がプログレファンから人気があるのは、驚異的ギタリスト、アラン・ホールズワースの存在だ。ここではとても書ききれないが、後々ソフト・マシーン、ゴング、ブルフォード、U.K.といった有名プログレ・バンドを渡り歩いた凄腕ギタリストなのだ。本作ではヴァイオリンも弾いており、これがまた実に効果的なのだ。



**“恐怖映画のサントラ”ではないプログレの金字塔**  
**マイク・オールドフィールド／チューブラー・ペルズ** (1973)  
ヴァージン第1号作品としても有名なインストアルバム。音楽オタクによる一人多重録音音楽はロックではないが、真にプログレッシブな一枚だ。全1曲構成。7拍子の奇妙なイントロが映画「エクシスト」に用いられ大ヒットしたが、「映画のサントラ」との間違った認識を生むことに。冒頭こそ不穏だが、アルバムを通して聞けば英国の田園風景を音化した牧歌的ほのほのアルバムであることが知れる。この後3枚目までは同傾向の大作にしていずれも傑作。



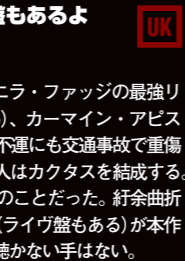
**ソフトマシーンと表裏をなす牧歌的ロック**  
**キャラヴァン／グレイとピンクの地** (1971年)  
1967年、分裂したワイルド・フラワーズ残留組がパイ・ヘイスティングス(g/v)をリーダーとして、キャラヴァンを結成。ロックとジャズの融合を目指すも、脱退組のソフト・マシーンと比すれば、牧歌的なサウンド面も併せ持つ。LP時B面を占めていた「9フィートのアンダーグラウンド」は、作曲家デヴィ・シンクレアのオルガン・ソロを大きくフィーチャーしたインストゥルメンタル指向の大作で、キャラヴァンの代表的な人気ナンバーだ。



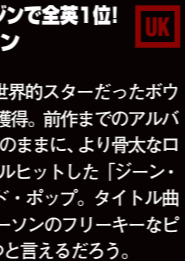
**全英1位、全米4位を獲得したバンドの最高傑作!**  
**ザ・フー／フーズ・ネクスト** (1971年)  
ビートルズやローリング・ストーンズと並ぶ偉大なロック・バンド、フー。初期にはリーダーのピーター・タウンゼントを中心に、モッズ・スタイルを確立したバンドとして知られていたが、1969年に「ロック・オペラ「トミー」」で、今度はロック・オペラというジャンルを確立。そして本作では、当時まだ珍しかったシンセサイザーを大胆に導入し、ある種プログレバンドのようなアプローチにより、新境地を開拓した。全英1位、全米4位獲得の最高傑作だ。



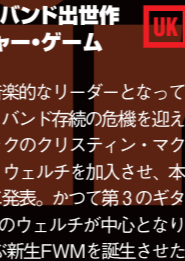
**最強のトリオが一触即発! ライブ盤もあるよ**  
**ベック・ボガート & アビス** (1973年)  
1969年、ジェフ・ベック(g)は、元ヴァニラ・ファッジの最強リズム・セクション＝ティム・ボガート(b)、カーマイン・アビス(ds)とバンドを組む予定だった。しかし不運にも交通事故で重傷を負ってしまいプロジェクトは頓挫。二人はカクタスを結成する。再び3人が組むことになったのは1972年のことだった。紆余曲折を経て発表された彼ら唯一のスタジオ盤(ライブ盤もある)が本作だ。最強のトリオが火花を散らす本作を聴かない手はない。



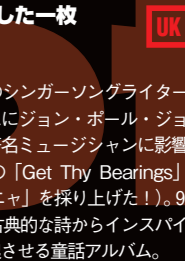
**星屑になったジギーの次に現れたアラジンで全英1位!**  
**デヴィッド・ボウイ／アラジン・セイン** (1973年)  
グラムロックの寵児(ちょうじ)として、世界的スターだったボウイ6枚目のアルバム。全英で初のNo.1を獲得。前作までのアルバムと比べると、独自のデカダンス美学はそのままだ、より骨太なロックン・ロールが展開されている。シングルヒットした「ジーン・ジニー」は、キャッチーなボウイ流ハード・ポップ。タイトル曲「アラジン・セイン」におけるマイク・ガーソンのフリーキーなピアノ・ソロは、本作のハイライトのひとつと言えるだろう。



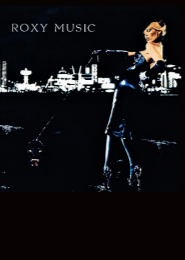
**メンツ交代で美メロを手に入れたバンド出世作**  
**フリートウッド・マック／フューチャー・ゲーム** (1973年)  
リーダーのピーター・グリーンが抜け、音楽的なりリーダーとなっていたジェレミー・スペンサーまでを失い、バンド存続の危機を迎えていたFWMだったが、元チキン・シャックのクリスティン・マクヴィーと、アメリカ人ギタリストのボブ・ウェルチを加え、本5thアルバムと6th「枯れ木」を立て続けに発表。かつて第3のギタリストだったダニー・カーワンと新加入のウェルチが中心となり、美しいメロディーのポップ・ロックが並ぶ新生FWMを誕生させた。



**多くの英国ミュージシャンを魅惑した一枚**  
**ドノヴァン／H.M.S** (1971年)  
1965年デビューのスコットランド出身のシンガーソングライター。ビートルズと親交を深めたり、アルバムにジョン・ホール・ジョーンズが参加したりと、英国の多くの著名ミュージシャンに影響を与えた(デビュー前のクリムゾンが彼の「Get Thy Bearings」を、ディーバ・パーブルも名曲「ラレーニャ」を採り上げた!)。9作目の本作は、伝統的な民謡、賛美歌、古典的な詩からインスパアされた、「不思議の国のアリス」を想起させる童話アルバム。



**中性的で過度的。グラムの顔見世興行盤**  
**ロキシーミュージック／フォー・ユア・プレジャー** (1973)  
クリムゾンのVo.オーディションは落選したもののR・フリップに素質を評価されたB・フェリー率いるロキシーの2nd。中性的で過度的、過剰メイクで音楽性よりルックス勝負がグラムバンドだが、シンセの鬼オイノを要するロキシーには電子楽器の進歩を取り込む貪欲さがあった。総合的には「LPレコード音質の最高峰」と評される「アロン」(1980)が頂点作だろうが、本作には散らかったおもちゃ箱の楽しさがある。元氣なタテノリの1曲目は彼らの名刺代わり。



**オーケストラとバンドが籍を削る感動のライブ**  
**キャラヴァン／キャラヴァン&ニュー・シンフォニア** (1974年)  
カンタベリー・ミュージック・シーンでソフト・マシーンと並ぶもう一方の雄、キャラヴァン初のライブ・アルバムは、マーティン・フォード指揮のニュー・シンフォニア・オーケストラとの緊迫と感動の絶頂が完璧に収録された傑作で、数週間前に発売されたばかりの5thアルバム「夜ごと太る女のために」のお披露目コンサートでもあった。現在発売のCDは、彼ら単独演奏の第1部もボーナスとして収められたコンプリート版で、超お買い得だ。



**プログレの最高峰に並び立つ奇跡の名盤**  
**イエス／危機** (1972年)  
イエスというだけでなく、プログレ全体でもトップクラスのクオリティを誇る奇跡的なアルバム。LP時収録曲はたった3曲で、全曲が大作という、まさにプログレらしいアルバム構成(だが、次作「海洋地形学物語」は4面に各1曲ずつだった!)。アルバム発表後、ブルーフォードがクリムゾンに移籍したため、最強メンバー5人での最後の作品となった。この時期第6のイエスとも言える、ロージャー・ディーンのアートワークも素晴らしい一言。



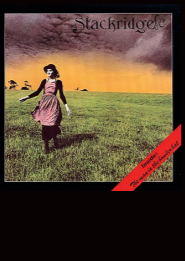
**寓話世界への旅の始まりはここから!**  
**ジェネシス／フォックストロット** (1972年)  
初期の代表作にして、プログレの金字塔。当時コンサートでもオーブニング・ナンバーとしてよく演奏された「ウォッチャー〜」の陰鬱なメロトロン響きは、これから始まる寓話世界への旅の始まりを予感させる。23分に亘る組曲「サバース・レディ」は、起伏に富んだ曲構成が見事で、一幕のプログレ・オペラでも見終えたかのような、満足感を与えてくれる。P.ホワイトヘッドの摩訶不思議なジャケットがまた、サウンドと完璧にマッチング。



## ディランもザ・バンドも、ボストンもボン・ジョビも選ばないが……

ダーホーン「朝の光の中で」やドノヴァンの「HMS」も選ばせてもらった。プログレ盤が多いのはご愛嬌としても、その分明らかに少ないのがハード・ロックだ。ブラッド・ロック・バスやユライア・ハイプ、UFOは大好きで候補には上げたのだが、最終的には落とさざるを得なかった。フアンの方には申し訳ない。その点専門外のアメリカン・ロックの方は大胆にもボブ・ディラン先生やザ・バンド、ボストン、ボン・ジョヴィをハッキリ排除して、ニコやダニー・コーチマ、パリスなどを選ばせてもらった。それにしても好みがあるとはいえずっぱから選んだ一枚が「イン・ニューヨーク」というのはクレームが来そう(全否定)。ザッパはレベリーの高いアルバムばかりで、代表作が選びにくかったとしても弁解させてもらおう。(「アंक・ミート」なら問題ないのはわかってますって!)  
とにかくこの選択は苦しくも楽しい作業であった。こまめに削ぎ落とすのに大

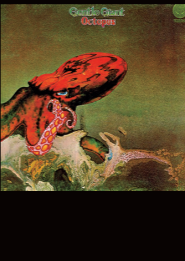
**ビートルズに最も近づいた英国バンドの代表作**  
**スタックリッジ／山高帽の男** (1974年)  
たかみが思う最もビートルズに近づいたバンドがスタックリッジだ。本作はそんな彼らの3rdアルバム。どこか牧歌的なほのほの感が漂うこのブリティッシュ・ロック独特の心地良さは、やはりビートルズ。彼らの書くすべての曲にスタックリッジ流ユーモアとウィットが秘められていて、その洗練されたメロディ・センスの素晴らしさにはほとんど感心させられる。プロデューサー、ジョージ・マーティンの管弦楽アレンジがまた楽曲にベスト・マッチ。



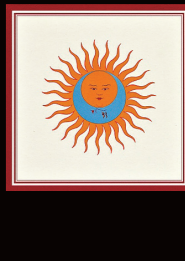
**来日時にメンバーをアテンドしたのは私です(笑)**  
**キャメル／スノー・グース** (1975年)  
'70年代に素晴らしいアルバムを数多く残しているキャメルだが、一枚選ぶとなればやはり本作だ。ポール・ギャリコの短編小説「スノーグース」をベースに、彼らが創造した完璧なコンセプト・アルバムだ。リーダーのアンドリュー・ラティマー(g)自身も本作が最高作だと認めていた。ラティマーの書くメロディは、とりわけ日本人の琴線に触れるらしく、よくキャメル節など言われた(そうライナーノーツに書いたのは誰だったかな? 苦笑)。



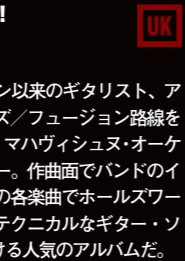
**変拍子多用の複雑楽曲を楽々弾きこなすバカテクバンド**  
**ジェントル・ジャイアント／オクトパス** (1972年)  
あのソフト・マシーンにも匹敵する演奏力を持つ、ミュージシャン仲間からも信奉された超テク集団の人気No.1アルバム。メンバーのほとんどが複数の楽器を弾き分けるマルチプレイヤーである上、変拍子を雨あられと多用し、複雑怪奇な楽曲を緻密なハーモニーと絶妙なアンサンブルで、いともたやすくこなしてしまう見事さときたら! しかし、通好みであるがゆえ、日本ではセールスは今ひとつ。本作もLP時のライナーノーツは自分です。m( \_ ) m



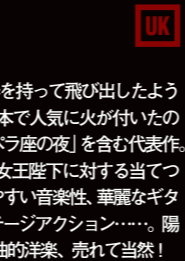
**いずれも必聴の後期クリムゾン開幕!**  
**キング・クリムゾン／太陽と戦慄** (1973年)  
新生クリムゾンの第一弾が本作。フリップ(1)バンド再編成を決意させたのは、イエスのビル・ブルーフォードの存在だったという。イエスからの引き抜きに成功したフリップは、まず旧友ジョン・ウェットン(vo/b)を誘う。さらにパーカッション、ジェイミー・ミュージアと、オーディションでデヴィッド・クロス(vln)を加え、サウンドはビルのドラミングを全面に出したパーカッシヴな方向へ。各メンバーの演奏技術の高さは呆れるほどだ。



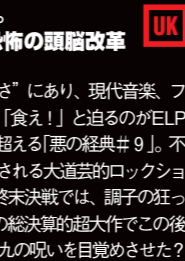
**ギター好きはなにを聞いても必聴!**  
**ソフト・マシーン／収束** (1975年)  
本作ではバンド創始者デヴィッド・アレン以来のギタリスト、アラン・ホールズワースを迎え入れ、ジャズ/フュージョン路線を打ち出している。意識したのは、ずばり、マハヴィシュヌ・オーケストラやリターン・トゥ・フォーエヴァー。作曲面でバンドのイニシアティヴを握っていたジェンキンスの各楽曲でホールズワースは、ジョン・マクラフリンに劣らないテクニカルなギター・ソロを披露している。彼最高のプレイを聴ける人気のアルバムだ。



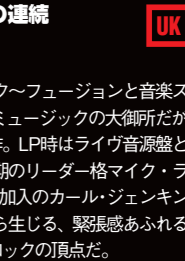
**鼻歌♪ できる歌謡曲的洋楽ロック**  
**クイーン／オペラ座の夜** (1975)  
1971年デビュー。少女漫画の王子様が楽器を持って飛び出したようなルックス。まず少女漫画人気があつた日本で人気に火が付いたのは有名な話。本作はその4枚目にして「オペラ座の夜」を含む代表作。男性なのにバンド名がKINGじゃないのは女王陛下に対する当てつけか、フレディの嗜好か。複雑だが親しみやすい音楽性、華麗なギターサウンド、コーラス、そしてフレディのステージアクション……。陽性で前向き、思わず口ずさみたくなる歌謡曲的洋楽、売れて当然!



**第9の呪い? どこか悲しい超大作。**  
**エマソン・レイク&パーマー／恐怖の頭脳改革** (1973)  
ELPの快樂原則はKbd、B、Drの「騒がしさ」にあり、現代音楽、フォーク、プギウギ等が放り込まれた闊歩を「食え!」と迫るのがELP流オモテナシ。さて本作の主役曲は30分を超える「悪の経典#9」。不平等への怒りや不平、そんな状況でも熱狂される犬道芸的ロックショー、しかし遂に訪れる人とコンピュータの終末決戦では、調子の狂ったシンセサウンドが勝敗を暗示……。ELPの総決算的超大作でこの後バンドは失速。解釈。「#9」の曲名がかの第九の呪いを目覚めさせた?



**緊張感あふれるアドリブ・プレイの連続**  
**ソフト・マシーン** (1973年)  
1966年結成以来、サイケ〜ジャズ・ロック〜フュージョンと音楽スタイルを変化させてきたカンタベリー・ミュージックの大師所だが、本6作目は、ジャズ・ロック時代の代表作。LP時はライブ音源盤とスタジオ録音盤の2枚組だった。この時期のリーダー格マイク・ラトリッジ(kbd)と、ニュークリアスから新加入のカール・ジェンキンス(sax/oboe/kbd)の「しのぎ合い」から生じる、緊張感あふれるアドリブ・プレイは、まさしくジャズ・ロックの頂点だ。



## 男の70年代ロック名盤100

セフト研究所グループの『空調服』を訪問したぞ!

株式会社セフト研究所  
株式会社 空調服



# 夏の進化系ワークウエア

普段着としてもアリな高機能仕事服!!

薄々気づいていた人は少なくないだろう。ワークウエアが快適な普段着にも使えるのではないかと。働く男のカラダに圧倒的涼感を与える大人気・EFウエアをはじめ機能、デザインが凄すぎる夏の進化系ワークウエアに熱視線!

## そもそも、ファンが付いた服ってどんなの?

夏の進化系ワークウエアの筆頭が服にファンが付いた「空調服™」。独自の「生理クーラー®」理論に基づき、小型ファンでウエア内に外気を取り入れ、気化熱でカラダに涼を得る仕組みで、数々の研究成果を駆使した高効率な冷却システムだ。



フツウのアウターと同じ感覚でフツウに着用。カモ柄もイイね!

キタ!!

ファンから大風量が流れ、ウエアが膨らみ、一気にカラダを冷却。



いろんな研究が行われている!

冷却効果の高さは日々の多岐に渡る研究成果に基づくものだ。

プロギア、ラトルトラップ、アソビト、ヘビーホッパーなど、有名ブランドとのコラボアイテムも続々リリース!

## 空調服™の仕組みとは?

汗が蒸発する際の気化熱で体温を下げる「生理クーラー」の原理を利用し、汗を蒸発させるための仕組みを備えたのが空調服。2個のファンでウエア内に外気を取り入れ、カラダとウエアの間に大量の風を流すことで汗を蒸発させ、その気化熱でカラダを冷却する。



ウエアにファンを装着(着脱が簡単!)し、ケーブル、バッテリーを接続して使用する。3点セットのスターターキットを利用するのがスムーズだ。



## 夏のワークウエアで大人気のファンは普段着にもスピンオフ!

このところ、機能進化の著しいワークウエアだが、その筆頭が夏の現場で大ブレイク中のEF(エア・エレクトリック・ファン)ウエアだ。その名の通り、ウエアの両サイドにファンをレイアウトし、専用の小型バッテリーからウエア内に外気を送ること、汗を蒸発させその気化熱によってカラダを冷やし、圧倒的涼感が得られるというモノ。気づき多きある種の発明品だ。太陽の強烈な光が照りつける建設現場や、エアコンの効きにくい大型倉庫をはじめ、採用現場からは高温の環境下でも集中力が維持でき、効率的に作業ができるという絶賛の声が相次いでいる。まさに、一度着たらEFウエアなしの現場仕事はあり得ないという、夏のワークウエアの革命的存在だ。そんな過酷な現場で実証済みの快適冷却機能をタウンユースに使用できない手はない。EFウエアの先駆者である「空調服」が機能そのままにカジュアルデザインを採り入れた新ブランド「エアギア」をリリースするなど、ワークウエアメーカーも積極的な展開を見せている。上の写真のいい感じな男女のスタイリングを見ておわकारりのとおり、普段着としてもまったく違和感なし。現場でガンガン使う作業服由来だから着心地のよさは当たり前。加えて、いつでも涼しげな顔をしていられるとあれば、もはや積極的に選ぶべきカジュアルウエアだ。夏の進化系ワークウエアは、僕らの日常を快適サポートする夏の行動着となり得る。

## 空調服の思想はこれからもさまざまな分野へ

子どもの頃から取り留めのない疑問から新しいことを考えるのが好きだったという、「空調服™」の生みの親・市ヶ谷弘司さん。その独創的な思想はワークウエアに留まらず日本の常識を変える!?



空調服・代表取締役会長  
市ヶ谷弘司さん

ソニーのエンジニアを経て'91年、セフト研究所を設立。生理クーラー理論を生み出し「空調服」を立案。'04年、企画販売を担当するグループ会社・空調服を設立し、「空調服」の販売をスタート。

地球温暖化を防ぐために宇宙から見える地球の反射率を高めるとか、それなら地球に日傘をのせればいいのか。実はそういう壮大なところから最終的に空調服ができたというわけ。そもそもなぜ冷房にエネルギーが必要なのか? 冷房はエネルギーを取り去るものだから、逆にお釣りがくるのではないかと。水を蒸発させ気化熱を利用したクーラーを考えたが、自分だけ涼しければいいことに気づいて空調服ができた。暑ければ自然に汗が出る。その汗を蒸発させてやればいいのか「生理クーラー理論」を思

いついたわけ。「空調服」なんていうと、簡単につくられるように思われがちだけど、簡単に見える世の中で最初のものほど、実はむずかしいもの。必要量の風を送るのが一番なんです。空調服の技術は今後、いろんな分野に活用したいし、それを指して新しい実験、開発を進めています。例えば建物に夏用、冬用がなく、冷房&暖房効率を高めるために断熱効果をよくする方法があるわけですが、実は夏でも冬でも考え方は同じで……まあ、この辺までかな。今後の空調服に大いに期待ください!

# 夏のアウトドアウェアの常識が変わる!! 空調服™のAIRGEAR™

圧倒的な涼感が得られる「空調服™」の高機能をワークウェアだけに限定するのはもったいない話だ。そこで、「空調服™」の可能性を広げるトレンドに敏感な新生カジュアルワークウェアブランドがデビュー。夏の快適スタイルは「エアギア」におまかせあれ!

写真/藪崎 大(WPP) 文/下川冬樹



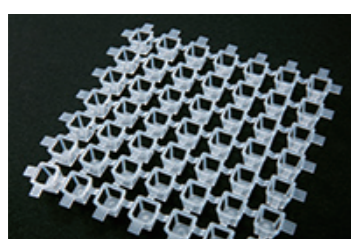
一見、フツウのアウトドアウェアにしか見えないこちらは、EFウェアのバイオニア「空調服」が昨今の拡大するワークウェアのニーズにこたえるべく、今シーズンから展開する新ブランド「エアギア」。つまりは、思いっきりタウンユースに寄せたワークウェアで、フィールドでも街でも映える「空調服」の新境地といえる。年々暑さの厳しくなる日本の夏だが、ウェアにファンを配し、独自の「生理クーラー理論」による高効率なカラダの冷却を行う「空調服」の高い機能性を、真夏のアウトドアやイベントでの暑さや熱中症対策に活かさない手はないというわけだ。

その圧倒的な涼感はそのままに、夏の快適な着心地を叶える高機能生地クリエイティブなデザイン、ディテールをプラス。旬な着こなしが楽しめるワークウェアのカテゴリを超えた「エアギア」が夏のアウトドアウェアの常識を変えるといっても過言ではないだろう。

ちなみに、目下、アパレルなどからのコラボの引き合いも少なくないそうだが、「あくまで原点はカラダを冷却する機能。研究に基づいた確かな機能性と、ニーズを広げるデザイン性の両面のいずれも進化させていくのが私たちの目指すモノづくりなのです」(空調服・市ヶ谷合資社長)。ただのカジュアルワークウェアとは明らかに一線を画した傑作品の予感だ。

## スーパースペーサー使用のアイテムも魅力!!

独自開発の「スーパースペーサー」は立体メッシュ構造の空気流通路。つまりは、空気の通り道を確保して、そこに空気を流すことで、ベッドやリュックなどウェア以外の分野で空調服の基本テクノロジーを応用させたものだ。



### 空調ベッド™風眠



ベッドとカラダの間に空気を通すことで蒸れや暑さによる夏の寝苦しさを解消するベッドパット。スペーサーを改良し風量を約8%アップ、あたりも柔らかくなり、さらに寝心地良好。肌触りのよいシーツ付き。価格2万742円

### エアクッションACC140

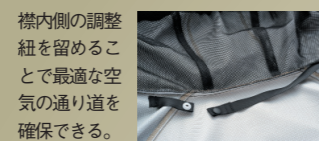


臀部などにたまった熱や湿気を排出してくれるクッション。長時間のオフィスワークなどに最適だ。厚手のクッション採用で抜群の座り心地を実現。電源にACアダプターを使用するため電池切れの心配もない。価格8250円

### 空調リュック®COOL PACK02



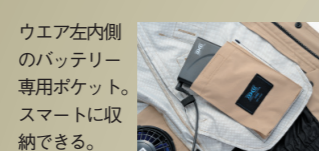
リュックに装着するだけで背中にたまった熱や湿気を排出し、快適に背負える夏のリュックスタイルのマストアイテム。幅広タイプで効果もアップ! リチウムイオン小型バッテリー、強モードで最大約8時間連続使用可能。価格8250円



襟内側の調整紐を留めることで最適な空気の通り道を確保できる。



ケーブルホールによりバッテリーやリモコンへのアクセスを快適に。



ウェア左内側のバッテリー専用ポケット。スマートに収納できる。



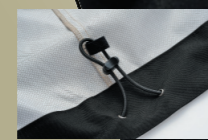
コンパクトなバッテリー。大容量、パワーファン対応等各種モデルあり。



ウェアの両側面にレイアウトされたファン。ここから外気を取り込む。



ウェア内に取り込んだ外気を逃さず効率的に循環させるエアスカート。



フードにも同じ調整コード付き。



バッテリーやリモコンへのアクセスがスムーズなフロントポケット。



独自開発のコントローラー  
作業中でもコントローラーで風量切り替えとバッテリー残量の確認がスマートに行える。



## 2020年デビューアイテム 着ているのに涼しい! コーデしやすいアウトドアウェアアイテム マストアイテムが続々リリース!



AR12003  
スタンドカラーブルゾン

春から秋まで使えるビッグサイズの胸ポケが特長のミリタリースタイルのブルゾン。光沢感に最適なハリコシを持ちつつソフトでコットンライクな風合いも◎! 価格1万6280円(ウェアのみ)



AR12002  
バイカラーマウンテンパーカー

防水性のある2.5レイヤー素材を使用し、軽量かつ肌触りもドライタッチで快適な着心地を実現。ウェア内には取り込んだ外気を逃さないエアスカートも装備。価格2万1780円(ウェアのみ)



AR12001  
マウンテンパーカー

軽量で耐久性に優れたリップストップに撥水加工を施したシンプルデザインのマウンテンパーカー。タウンユースからアウトドアまで頻繁に出番になること必至。価格1万6280円(ウェアのみ)

### 新ブランド「AIRGEAR™」とは?

キャンプや釣り、音楽フェス、スポーツ観戦など、真夏のソト遊びから日常までスマートな着こなしが楽しめる「空調服」待望のカジュアルライン。その個性でもある2個のファンさえもごく自然に付く、洗練されたシンプルなデザインが活躍シーンを選ばない。



AR22001  
アウトドアベスト

大きな腰ポケットがアクセントの様々なスタイルに着回ししやすいベスト。防水性のある2.5レイヤー素材を使用。軽量&ドライタッチで快適な着心地を実現。価格1万7380円(ウェアのみ)



AR12004  
サマーシールドジャケット

こちらはより機能強化系。東レ「サマーシールド」をフード、ショルダーに使用。特殊三層ラミネート構造で優れた遮熱体感効果、高い遮光性、UVカット構造を備える。価格1万6280円(ウェアのみ)



袖口に付いた面ファスナーによって空気の排出量を調整できる。

Publisher

今井今朝春  
Kesaruru Imai

Editor-in-Chief

前田賢紀  
Takanori Maeda

Deputy-Editor

関谷和久  
Kazuhiisa Sekiya

桜井靖人

Yasuhito Sakurai

Managing-Editor

松崎薫子  
Kaoruko Matsuzaki

Senior-Editor

小川太市  
Taichi Ogawa

Editor

小野正章  
Masaaki Ono

大谷 暁

Satoru Otani

片岡静香

Shizuka Kataoka

加藤文晶

Fumiaki Kato

竹本 泉

Izumi Takemoto

数崎 大

Dai Yabuzaki

Directing Editor

土居輝彦  
Teruhiko Doi

Art Director

若山トシオ  
Toshio Wakayama

Designer

フェイヴァリット・グラフィックス  
favorite graphics

東京クリエイティブラボ

Tokyo Creative Labo

Staff Photographer

鶴田智昭  
Tomoaki Tsuruda

青木健格

Takenori Aoki

Advertising Director

坪井一雄  
Kazuo Tsuboi

鈴木敏弥

Toshiya Suzuki

Production Director

小川俊介  
Shunsuke Ogawa

Circulation Manager

笹川裕史  
Hiroshi Sasagawa

Print

Dai Nippon Printing Co., Ltd.

DTP

Base, Nagi

Correspondent, Washington, D.C. Bureau

(Pictorial Press International)

Mikako Burks

ワールドフォトプレス 公式サイト

http://www.monomagazine.com

編集部員の“ここだけの話”

mo.WEB (モウウェブ) 公開中!

Facebookも更新中👍してね!

http://www.facebook.com/monomagazine1982/

スマホでもモノマガジンが読める「dマガジン」をチェック!

https://magazine.dmkt-sp.jp/

# NEXT

## 次号予告

【特別企画】&  
【グラフィティ】

## 特集

## 大特集

乗るんだっただらいいまぐ!

# バイクにぞっこん!

いつの時代もエモーションナルで五感を刺激してやまないバイク。国内外のあらゆるバイクが手に入る昨今、巷で流行りのネオレトロからアドベンチャー、ネイキッドにツアラーまで注目のニューモデルが続々登場し、乗り手にとって最高の時代が到来。これまでは眺めるだけだった妄想派の人も欲しくなるような1台がこのなかにある!

ワケありで選ぼう!

## 眼鏡とサングラス

眼鏡の金額には幅がある。高い眼鏡には高いだけの理由がある。ワケあって高性能であり、ワケあってハイデザインなのだ。10万回の開閉テストをクリアした緩むことのないヒンジを使ったジャポニスムや東京を中心に活躍する眼鏡デザイナーのブランドなど理由を明確に紹介する。サングラスは、偏光や調光レンズ、ガラスレンズを使った高性能アイテムがいま注目だ。

## タフマン・メヒコ!

インドアを強いられなだか気持ちふさがち。そんな時は心の底から天真爛漫、前向きライフの達人にして、ハイパー製造工場のメヒコ・マンたちの写真から元気をもらおう! 写真家GIKENのヒューマン・グラフィア。

## 現代音楽の時間ですよ

志村けんとはぼ同時期にこの世を去った現代音楽の巨匠クシシユトフ・ペンデレツキ。彼の逝去を機に「難しい」とされる現代音楽に耳をそばだててみたい。そこには違和感という名の快楽が存在した! ヤングな音楽評論家・鈴木淳史氏がナビゲート「さあ皆さん。現代音楽の時間ですよ!」

■うーん、うなるモノ ■モノ進化論 ■mono編集部モノ差し ■mono大捜査線

モノマガジン6-2 特集号 No.849  
5月15日(金)発売 定価 649円(税込)



●モノ雑誌のハイオニア 毎月2回(2日・16日)発売

# mono

発行人●今井今朝春

編集人●前田賢紀

発行所●株式会社ワールドフォトプレス

〒164-8551 東京都中野区中野3-39-2

TEL:03(5385)5666 [編集部]

03(5385)1350 [広告営業部]

03(5385)5701 [販売部]

FAX:03(5385)5617 [編集部]

03(5385)1348 [広告営業部]

03(5385)5703 [販売部]

印刷所●大日本印刷株式会社

●編集の都合上、内容が一部変更される場合もありますのでご了承ください。

●乱丁・落丁は送料小社負担にてお取り替えます。

●本文中の価格は消費税込みの総額表示です。

実勢価格は編集部調べの価格です。